

数学 第2学年

1. 教科の目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2. 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較し読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

3. 評価の観点と評価方法

観点 \ 評価方法	一学期				二学期				三学期			
	定期 考査	授業 観察	提出 物	小テ スト	定期 考査	授業 観察	提出 物	小テ スト	定期 考査	授業 観察	提出 物	小テ スト
知識・技能	◎		○	◎	◎		○	◎	◎		○	◎
思考・判断・表現	◎		○	◎	◎		○	◎	◎		○	◎
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○

数学 年間評価計画 (第2学年)

月	単 元	指導内容	評価の方法と評価の観点
4	一章 式の計算 1 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の計算 単項式の乗法と除法 	<p>☆ 定期考査 「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価の大きな割合を占める。</p> <p>☆ 授業観察 授業態度や発言等を基に、「主体的に学習に取り組む態度」の観点を中心に評価を行っていく。</p> <p>☆ 提出物 授業のノート、ワークシート、問題集、宿題等の提出状況を基に各観点の評価を行っていく。</p> <p>☆ 小テスト 定期考査以外に行われるテストを基に各観点の評価を行っていく。また小テストの結果をふまえた各自の学習をもとに、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行っていく。</p> <p>以上の項目を総合的に判断し、各学期、年間の評価を行っていく</p>
5	2 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 式による説明 等式の変形 	
6	二章 連立方程式 1 連立方程式とその解き方 2 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 いろいろな連立方程式 連立方程式の利用 	
7	三章 1次関数 1 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数 1次関数の値の変化 	
9	2 1次関数の性質と調べ方	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数のグラフ 	
10	3 2元1次方程式と1次関数	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の式を求める方法 2元1次方程式のグラフ 	
10	4 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とグラフ 1次関数とみなすこと 1次関数のグラフの利用 1次関数と図形 	
11	四章 平行と合同 1 説明のしくみ 2 平行線と角 3 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の角の和の説明 平行線と角 合同な図形の性質と表し方 証明のすすめ方 	
12	五章 三角形と四角形 1 三角形	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質 二等辺三角形になるための条件 直角三角形の合同 	
1	2 平行四辺形	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積 	
2	六章 確率 1 確率	<ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいこと いろいろな確率 	
3	2 確率による説明		
	七章 データの比較 1 四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲と箱ひげ図 	